

特別版

# 愛器を語る

## YAMAHA サイレントギター<sup>TM</sup>発売 20 周年特別企画



猪居亜美

◆  
YAMAHA サイレントギター  
SLG200NW

Ami Inoi

4歳よりギタリストの父・猪居信之のもとでギターを始め、多数の学生・ジュニアコンクールで優勝。2012年より大阪音楽大学にて藤井敬吾、福田進一、両氏に師事し、在学中の2015年にフオンテックより『Black Star』でデビュー。翌2016年には大阪音楽大学を首席で卒業。また2019年7月には3rdアルバム『MEDUSA』でキングレコードよりメジャーデビューを果たし、これまでにリリースしたアルバムはいずれもレコード芸術特選盤に選出されている。現在は岩崎慎一氏、益田展行氏にも師事し、自身も後進の指導にあたっているほか、これまでに『名曲リサイタル』『リサイタル・クヴァ』『THE TRAD』などの番組やPanasonic ハイエンド 4K プロジェクター・業務用ディスプレイの高画質・高精細デモコンテンツ【Into the Harmony ~新世代のクラシックギタリスト「猪居 亜美」が奏でる世界~】に出演。また、MBSお天気部 秋のテーマ にマシュー・ロー氏作曲『Promenade ~秋晴れ~』でギタリストとして参加している。自身のYouTube チャンネルは 2021 年 12 月現在登録者 7 万人を越える。

写真：木田新一

——今回は YAMAHA サイレントギター発売 20 周年記念特別企画ということで、ギタリストとしてはもちろん、登録者数 7 万人越えの YouTuber としても大活躍されている猪居亜美さんに、ヤマハさんからサイレントギター SLG200NW をプレゼントして頂き、実際に使用して頂いた感想を亜美さんに直接伺いたいと思います。亜美さんはこれまでサイレントギターをお持ちではなかったとのことですが、存在はご存じだったと思います。サイレントギターについて、どのような印象や興味をお持ちでしたか？

猪居：サイレントギターは、音量や音質を自在にコントロールできるクラシックギターとして、住環境の問題で自由に弾けない人、練習したくてもできない人の悩みを解決できるアイテムだというイメージを持っていました。私も、実家にいたときは夜中でも好きなように練習していたのですが、マンションに住むようになって、音量問題を実感しました。レッスン後など、夜間にちょっと練習したいと思っても弾けなくてもどかしい思いをしていたので、サイレントギターがあるといいな、とはずっと思っていました。ですので、今回思いがけず大変光栄なお話を頂いて、とても嬉しかったです。

——確かに、今回の企画を猪居さんにお伝えしたときは、喜んで引き受けてくださったように感じました（笑）。実は、ヤマハさんから「発売 20 周年の特別企画として何かおめでたい企画を」とご相談を受けまして、この企画を提案したところ、「それは素晴らしいですね！」と即答を頂きました。実際に弾いてみていかがでしたか？

猪居：音量問題はもちろん、完璧に解決できました。また、プロ・ギタリストの立場から言っても、申し分なく練習用に使えると思います。愛好家の方はもちろん、「まだサイレントギターは弾いたことがない」というギタリストやギター教室の先生方にも是非弾いてみてほしいですね。夜中に練習しやすくなりますし、音量問題で悩む生徒さんなどに自信をもってお勧めできると思います。生音はとても小さいですが、ヘッドホンをつなげばしっかり音を聴けますし、細かいタッチも再現されます。音が外に漏れずに音に集中できるのもよいですね。また、思っていたよりもずっとスリムで収納も持ち運びもしやすかったです。もっと早く購入しておけばよかったと思いました（笑）。

——クラシックギターとの違和感は何がありましたか？

猪居：コンパクトな形状であるため、ボディの触感は少し違っていて、厚みが薄い分、右腕のフォームは多少変わります。ネックはほとんど同じなので運指練習などに不都合はなく、十分練習に使えます。ボディについては、正面から見て左側の枠が取り外しできて、小さなソフトケースに入れて持ち運びが容易なのがいいところです。これはクラシックギターではできないことですね。実際、

海外のギタリストも渡航の際にサイレントギターを持ってきているのを見たことがありますし、練習の機会が増えると思います。

——練習の機会が増えるというのは画期的な点ですね。練習用には十分に使えることはわかりましたが、コンサートでの実演についてはいかがでしょうか？ サイレントギターだからこそ可能なことは何かありそうですか？

猪居：クラシックギター以外のジャンルでは、サイレントギターはライブでも使用されていますよね。私も弾いてみる前は、消音楽器という印象が強かったのですが、サイレントギターをエレキギターのアンプにつないでみると、音量だけでなく音色も自在に操れるので、とても面白かったです。ディストーション（歪み）もかけられて（笑）。この効果が絶大であることと、使い勝手の良さからライブでも使用されているのだなと納得しました。

——ボディがないので大音量でもハウリングの心配がありませんね。

猪居：また、クラシックギターの音色はボディの材料の良し悪しにかなり影響を受けますが、サイレントギターは弦の振動がダイレクトに出るので、自分の出したい音を作りこむことに関しては、クラシックギターとは別の新しい可能性があると感じました。現代曲にエレキギターのための作品があるように、サイレントギターのための作品がこれから生まれるかもしれないですね。

——サイレントギターでどんなコンサートをやってみたいですか？

猪居：最近、クラシック以外の方との共演の機会が増えてきたので、そうした機会に演奏してみるの面白そうですね。私は高校時代に軽音楽部で活動していたこともあって、ロックやメタルもよく聴いています。クラシックギターでそれらをアレンジしても柔らかくて優しい編曲になってしましますが、サイレントギターなら激しい音楽にもマッチした「ナイロン弦の音」を作れそうだなと感じました。また、ジャンルのクロスオーバーなコンサートで、敢えてサイレントギターで〈アランプラの思い出〉や〈タンゴ・アン・スカイ〉などを演奏して、より多くの方にクラシックギターのレパートリーの素晴らしさを伝えることもできそうです。

——最後に今後の活動の展望と読者へのメッセージをお願いします。

猪居：クラシックをベースとして大切にしながら、他方で YouTube を軸にしつつジャンルを超えた幅広い活動をしていきたいです。サイレントギターも是非演奏したいです。ヤマハさん、サイレントギター発売 20 周年、本当におめでとうございます。読者の皆様、コロナ禍明けには是非、コンサート会場でお会いしましょう！



電子回路操作パネル。左の赤いAはチューナーで5弦をAに合わせた状態を示す。右端のヘッドフォン端子はステレオ・ミニジャック。



ブリッジ横の2つの穴は下側がAUX（外部入力信号）、上側は電源アダプターのジャック。裏面下部はラインアウト・ジャック（モノラル）。

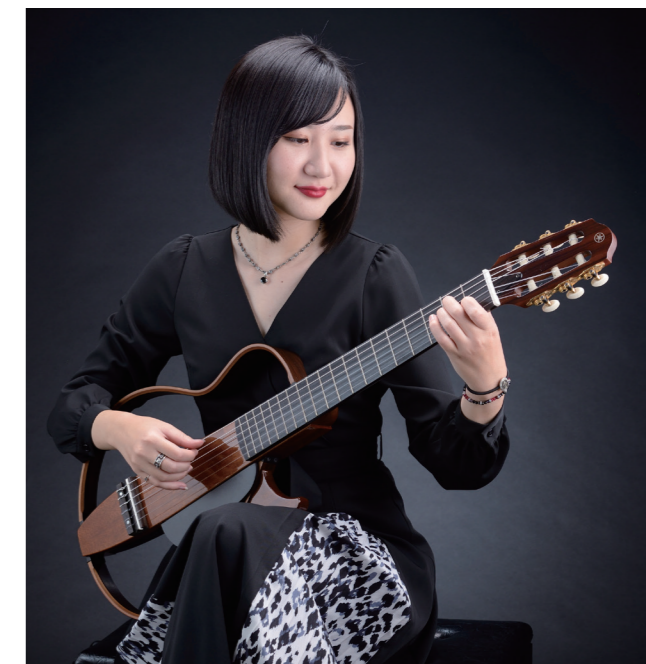
#### DATA

##### サイズ

重量	2020g
弦長	650mm
弦幅（上）	42mm
弦幅（下）	59mm
駒	33 × 81.8 × 13.7mm
ネック厚（上）	22mm
ネック厚（下）	23.7mm

##### 材質

フレーム	ローズウッドとメイプルの積層
ネック	マホガニー
指板	黒檀



SLG200NW を演奏する猪居亜美

●ヤマハのサイレントギター・シリーズは今年で発売 10 周年を迎える。当初からナイロン弦のクラシックギター・タイプとスチール弦のアコースティックギター・タイプがあったが、ここでは前者について紹介する。2015 年に発売された新モデル SLG200N（N はナイロン弦）は弦長 650 mm だが弦幅 50 mm / 60 mm と狭かった。2017 年に発売された SLG200NW（W はワイド）は弦長同じ 650 mm で、指板幅 52 mm / 62 mm となり、よりクラシックギターに近いモデルとなった。

サイレントギターは共鳴胴を持たないため、自然な音色を付加するために「SRT（Studio Response Technology）パワードピックアップシステム」を搭載している。これはプロ用のマイクでスタジオの音響を収録し、編集したもの。このシステムをピエゾピックアップからの信号に加えることにより、本来のクラシックギターの胴鳴りの空気感やサスティン、減衰という音色の変化を自然に表現できる。

電源：電源アダプター PA-3C またはアルカリ単 3 乾電池・ニッケル水素電池 2 本（いずれも別売）。通常連続（エフェクト使用・不使用に関わらず）でアルカリ乾電池約 22 時間、ニッケル水素電池約 18 時間の使用が可能。

チューナー：クロマチック・チューナーが内蔵されている。  
カラー：NT（ナチュラル）、TBS（タバコブラウンサンバースト）、TBL（トランスルーセントブラック）、CRB（クリムゾンレッドバースト）

ケース：専用ソフトケースが付属。

希望小売価格：85,800 円（税 10%込）